

ICC企画塾

VOL.1

11月26日(木) 16:00~19:00

ICC Planning Workshop vol.1 START:16:00~19:00 26th Nov. <thu>.

魅力的な企画をどのように組み立てるか？

魅力的な企画（アイデア）を現実のカ・タ・チにする

ワークショップ型の企画塾。

多くのICCクリエイターの企画を実現に導いてきた企画立案の極意と

その実践的ノウハウを公開。

ワークショップ形式で、オリジナルな企画を自ら立ち上げていきます。



キカクをカタチに。

あなたの魅力的な企画を実現のカ・タ・チにするためのワークショップ。

日時：11月26日(木) 16:00~19:00 (開場：15:45)

会場：インタークロス・クリエイティブ・センター(1F Cross x Garden) 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1

講師：久保俊哉 (インタークロス・クリエイティブ・センター チーフコーディネーター)

参加費：無料(要予約) 限定20名

▼予約申し込み：URL:<https://business.form-mailer.jp/fms/1c12aa4a49497>

※切：定員になり次第締め切らせていただきます。

お問合せ：インタークロス・クリエイティブ・センター事務局 (土日、祝を除く 9:00~17:00)

住所：〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 TEL:011-817-8911 FAX:011-817-8912

E-mail: info@icc-jp.com URL: <http://www.icc-jp.com>

主催：インタークロス・クリエイティブ・センター<(一財) さっぽろ産業振興財団 >

ICC Planning Workshop Vol.1

Schedule:

16:00~

・自己紹介

・マーケティング基礎知識

16:30~

・企画立案ワークショップ

18:00~19:00

・フリーディスカッション

(交流会)

何かをやりたい！イベントなのか、事業なのか、展覧会なのか、商品企画なのか、広告企画なのか、まちおこしなのか、映画企画か、音楽の企画か？

それらはすべて、アイデア (Idea) から生まれ、企画 (Plan) として、また事業計画 (Business Plan) として、設計図があって初めて実行できるものである。もちろん行き当たりばったりで、思わぬ発見のある研究開発的なこともあるが、いざ実現に向けてプロジェクトを立ち上げる時は、その設計図 (企画書) なるものが必要となる。

世の中には「企画書の書き方」なるものはあまた存在するが、ここでは、そのような書き方論は行わない。企画書のフォーマットは特にこだわらない。

本質的な企画の中身をどう詰めていくか。その一点にしばっていく。内容はとてもシンプルだ。ここで経験したことは様々な分野にも応用できる。

そのくらいにシンプルなことを90~120分の間に行っていきます。

「アイデアを形にする。」
シンプルで熱い、だけど深い。

どんな職業、ポジションでも歓迎です。企画塾に是非ご参加ください。マーケティング理論を超えた、実践的なワークショップです。

インタークロス・クリエイティブ・センター
チーフコーディネーター

久保俊哉

講師紹介：

■Profileプロフィール



Toshiya Kubo 久保 俊哉 (メディア・プロデューサー) <toshi@maverick-creative.jp>

(有) マーヴェリック・クリエイティブ・ワークス 代表取締役プロデューサー
インタークロス・クリエイティブ・センター チーフコーディネーター
(株) ビジュアル・ファーム 取締役プロデューサー
SAPPOROショートフェスト実行委員 (札幌国際短編映画祭) プロデューサー
札幌市立大学 大学院 デザイン研究科 講師
藤女子大学 文化総合学科 講師
NPO法人 S-Air (サッポロ・アーティスト・イン・レジデンス) 理事
北海道日米協会 会員

1957年、小樽市生まれ。日本大学芸術学部放送学科在学中、TV朝日にて淀川長治のアシスタントを務める。その後農業の関連会社にて8年間貿易実務、貨物海上保険業務など、基幹産業を広く学ぶ。その後広告代理店、外資系ゲーム会社、CGプロダクションを経て1998年4月独立。世界的にも新しい試みであるクリエイティブなインキュベーション施設である*インタークロス・クリエイティブ・センター<通称：ICC>のトータルプランニング、プロデュースを行う。その後もICCチーフコーディネーターを務め、札幌市のクリエイティブ産業のプロデュースを行っている。「sapporo ideas city」(札幌市)の企画立案、政策プランにも携わり、英国の"tomato"と一緒に都市ブランディングや、2006年、SAPPOROショートフェストを企画プロデュース、ディレクターを務める。英国で始まった「onedotzero (ワンドットゼロ)」などの映像祭も札幌でプロデュースし若手クリエイターと海外のネットワークを構築。マーケティング+コンピュータ+エンターテインメントを得意分野としながらも異分の農業や科学をも領域としている。"Little Terra Project"(1997~2000)ではキャラクター・ライセンス・ビジネスなどの知的財産権のビジネスを展開。ウィルソン・タン Wilson Tang (ILMで「スターウォーズ」等のプロダクションデザインや、世界最大のゲーム会社であるEAにてシニア・ディレクターを務める)、や"BAKU" (イラストレーター)のエージェント&パーソナルマネージャーを務める。他、札幌市立大学大学院デザイン研究科「メディアプロデュース特論」藤女子大文化総合学科「映像表現論」講師を務め、クリエイティブ関連のセミナーや講演、ワークショップなど教育分野を手がけている。

*インタークロス・クリエイティブ・センター (ICC) では、若い才能を輩出し、短編映像監督など、国際映画祭で賞を受賞するまでに育て上げる他、栗城史多(登山家)や前田麦(アーティスト)など、企業連携において成功を収める活動などをプロデュースしている。2006年には札幌市初の国際映画祭、SAPPOROショートフェスト (札幌国際短編映画祭)を立ち上げ、国内最大級の国際映画祭までにまで成長させ、地域活性化のモデルとして注目され、地域から世界への情報発信を実践している。企業にとって価値の高いトップクラスのクリエイターのネットワークを国内外に持ち、的確なアドバイスにより、企業活動のブランディングに向けたクリエイティブ・コンサルティングにも力を注いでいる。

Toshiya Kubo (Media producer)

Birthday: September 9, 1957. Maverick Creative Works Inc. (CEO / Media Producer)

Inter x cross Creative Center (Chief coordinator). After graduating from the Department of Broadcasting, Faculty of Arts, Nihon University, worked for an advertising agency, a game company, and a CG production. Became independent in April 1998. Executive committee member/producer of the SAPPORO Short Fest (Sapporo International Short Film Festival & Market). Specialist in marketing, computers, and entertainment. Engaged in character licensing business as part of the Little Terra Project. Agent/personal manager for Wilson Tang (EA), the creator of Little Terra. Lecturer-Graduate School of Design Sapporo City University.